

6回生 選択科目「実用国語」授業のシラバス

教科名	国語	科目名	実用国語	単位数	3単位
科目の目標	○国語の語彙力表記力を向上させ、適切に表現する力や伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現することによって社会生活を充実させる態度を育てる。				
教科書	なし	副教材	いきいきとアライブ国語常識（浜島書店） 現代文記述問題攻略ノート（数研出版）		

1 学習の目標

- (1) 国語の表現の特色や言語の役割について理解を深める。
- (2) 情報を収集、整理し、表現を工夫して話したり書いたりする力を養う。
- (3) 論理的に意見を述べ、相手の考えを尊重して話し合う力を養う。

2 学習の方法

- (1) 予習について
 - ① シラバスを用いて学習内容を確認しておく。
 - ② テーマについて情報を集めておく。
- (2) 授業について
 - ① 授業時間内で理解できるように、集中して取り組む。
 - ② 発問については、必ず自分で答えを出し、他者の意見や解答例と比較するようにする。
 - ③ 各種の文章表現に関するコンテスト（エッセイ、手紙、小論文コンテスト）等に応募することを予定しています。
授業で学んだことを実際にいかすためにも、積極的に参加してください。
- (3) 復習について
 - ① シラバスを用いて、学習内容の項目ごとに理解しているかを確認する。
 - ② わからない語句やトピックについては調べて、ノートに記入しておく。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① 関心・意欲・態度	国語や言語文化に関する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりしようとする。
② 書く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書く。
③ 知識・理解	表現と理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身につけている。

(2) 評価の方法（以下観点①～⑤は「(1) 評価の観点」と対応する）

観点	評価材料	定期 考査	単元 テスト	小 テスト	実技 実習	発言 発表	作品	レポ ート	ノート	ワーク シート	討議	ワーク ブック
① 関心・意欲・態度					○	○		○		○	○	○
② 書く能力					◎			◎		○		○
③ 知識・理解				○	○					○		○

〈担当者からのメッセージ〉

- 定期考査を行わないので、日常の取組状況や提出物に不備がないようにしましょう。
- わからない語句などが出てきた場合には、必ず調べて書いておくようにしましょう。
- 日ごろから、世の中の出来事について興味を持って情報収集に努めましょう。

4 授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	反省等
4	国語常識・基本編	漢字の読み・書き 同訓異字・同訓異義語 複数の音訓 似た字形 対義語 類義語 語のつながり 文学史	基礎的な国語力を向上させようとしている。	
	記述問題攻略ノート	新聞記事と資料を読み比べる	複合的な視点から文章と資料を読み分析しようとしている。	
5	国語常識・必修編	漢字の読み・書き 同訓異字・同訓異義語 複数の音訓 似た字形 対義語 類義語 慣用句ことわざ 文法 文学史	基礎的な国語力を向上させようとしている。	
	記述問題攻略ノート	公文書と資料を読み比べる	複合的な視点から文章と資料を読み分析しようとしている。	
6	《エッセイコンテストに応募しよう》	福祉に関する時事問題について知識と考えを深める 日本福祉大学主催のエッセイコンテスト応募作品を書く	①福祉問題について知識を身につけ、考えを深めようとしている。②福祉問題について考えたことを適切に表現できる。 ①身近な問題について考えようとしている。 ②身近な問題について考えたことを適切に表現できる。	
7	国語常識・標準編	漢字の読み・書き 同訓異字・同訓異義語 複数の音訓 似た字形 対義語 類義語 慣用句ことわざ 文法 文章題 一般常識 文学史 古典常識	基礎的な国語力を向上させようとしている。	
	記述問題攻略ノート	いろいろな資料を読み比べる	ポスターやグラフ、ピクトグラムなどを読み分析する力をつけ、自己分析を基に自らの意見を発信しようとしている。	
8	国語常識・応用編	漢字の読み・書き 同訓異字・同訓異義語 複数の音訓 似た字形 対義語 類義語 文章題 文法 一般常識 文学史	基礎的な国語力を向上させようとしている。	
9	記述問題攻略ノート	評論文と資料を読み比べる	様々な資料を分析し、論理的に考察しようとしている。	
10	国語常識・表現編	文章の構成 意見文 進路へ向けて〈ワークシート 自己分析〉	学習してきたことを生かし文章表現している。	
11	記述問題攻略ノート	実用的な文章を読む	行政機関の文書や約款など実用的な文章を正確に読もうとしている。	
12	国語常識・対策編	敬語の基本 手紙の書き方 電話メールの使い方	社会に出てからの基本的なコミュニケーション力を身につけようとしている。	
1	《手紙文コンテストに応募しよう》	広島国際大学主催の手紙文コンテスト応募作品を書く。	①身近な人への思いを手紙に書こうとしている。②身近な人への思いを手紙に書ける。	

※授業内容を前倒しで行う場合があります。

※【関心・意欲・態度】→①、【書く能力】→②、【知識・理解】→③として表現しています。